

お客様各位

株式会社 セゾン情報システムズ
HULFT 事業部

HULFT7 for Windows/UNIX/Linux/zLinux にて発生する問題について

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、HULFT7 for Windows/UNIX/Linux/zLinux にて不具合が発見されましたので、下記にご報告申し上げます。内容をご確認いただき対応をお願いいたします。

お手数おかけしますが、宜しく願い申し上げます。

敬具

－ 記 －

1. 障害内容

障害(1) 特定の HULFT 製品から正常に集信できない場合がある
本障害は以下にご報告済みの内容となります。
URL <http://www.hulft.com/news/info/2011/110920a.html>

障害(2) 配信管理情報の「圧縮レベル」を「縦横圧縮」、「転送タイプ」を「TEXT」に設定している場合に正常に集信できない場合がある。

障害内容(1) 特定の HULFT 製品から正常に集信できない場合がある (再掲)

(1) 発生現象

以下のいずれかの現象が発生する場合があります。

- ・ 集信処理は正常終了するが、集信ファイルが不正な状態になる。
- ・ 集信処理は正常するが、配信処理のみエラー終了
配信側 HULFT 製品により下記表の完了コードで終了

配信側製品名(各製品の英語版も含まれます)	配信側の完了コード
HULFT for Mainframe Ver. 5	32
HULFT-SAN for Mainframe(H) Ver. 5	
HULFT-SAN for Mainframe(F) Ver. 5	
HULFT for AS/400 Ver. 5	718

- ・ 集信処理が完了コード 402 でエラー終了する。
- ・ 集信処理が完了コード 407 でエラー終了する。
- ・ 集信処理が完了コード 415 でエラー終了する。
- ・ 集信処理が完了コード 530 でエラー終了する。
- ・ 集信処理が完了コード 750 でエラー終了する。

(2) 対象製品・バージョン

HULFT7 for Windows Ver. 7.2.3

HULFT7e for Windows Ver. 7.2.3

(3)発生条件

下記の条件について、全ての項目を満たした場合に発生する可能性があります。

配信側ホストの配信管理情報の「転送タイプ」に下記のいずれかを設定

- TEXT
- FORMAT
- MULTIFORMAT
- BINARY (「圧縮レベル」に「横圧縮」または「縦横圧縮」指定時)

配信側の製品が下記のいずれかに該当 (各製品の英語版も対象製品に含まれます)

- HULFT for K Ver.1
- HULFT for K Ver.2
- HULFT for Mainframe Ver.5
- HULFT for Mainframe Ver.6
- HULFT-SAN for Mainframe(H) Ver.5
- HULFT-SAN for Mainframe(F) Ver.5
- HULFT-SAN for Mainframe Ver.6
- HULFT for AS/400 Ver.5
- HULFT for OS400 Ver.6
- HULFT7 for i5OS
- HULFT7 for zOS
- HULFT7 for MSP
- HULFT7 for XSP

発生する可能性がある製品の組合せは下表のとおりです。

配信側HULFT (HULFT-SAN含む)		集信側HULFT		
		Windows Ver.7.2.3	Windows Ver.7.2.2以前	Windows以外
zOS	Ver.7	▲	○	○
	Ver.6	▲	○	○
OS390	Ver.5	▲	○	○
MVS	Ver.7	▲	○	○
	Ver.6	▲	○	○
	Ver.5	▲	○	○
XSP	Ver.7	▲	○	○
	Ver.6	▲	○	○
	Ver.5	▲	○	○
VOS	Ver.6	▲	○	○
	Ver.5	▲	○	○
	Ver.4	▲	○	○
ACOS	Ver.5	▲	○	○
i5OS	Ver.7	▲	○	○
OS400	Ver.6	▲	○	○
AS400	Ver.5	▲	○	○
K	Ver.2	▲	○	○
	Ver.1	▲	○	○
UNIX/Linux	Ver.7	○	○	○
	Ver.6	○	○	○
	Ver.5	○	○	○
NSK	Ver.7	○	○	○
	Ver.5	○	○	○
Windows	Ver.7	○	○	○
	Ver.6	○	○	○
	Ver.5	○	○	○

○：発生しません、▲：発生する可能性があります

障害内容(2) 配信管理情報の「圧縮レベル」を「縦横圧縮」、「転送タイプ」を「TEXT」に設定している場合に正常に集信できない場合がある。

(1)発生現象

0 バイトのレコード長が含まれるデータを縦横圧縮、テキスト転送で特定の HULFT 製品から配信した際に、転送が下記のいずれかの結果となり、正常に集信できない場合があります。

- ・集信処理が完了コード 300 でエラー終了 (UNIX/Linux/zLinux のみ)
- ・集信処理は正常終了するが、集信ファイルのデータが破損 (全ての対象製品)

(2)対象製品・バージョン

HULFT7 for Windows Ver.7.2.3
HULFT7e for Windows Ver.7.2.3
HULFT7 for UNIX Ver.7.2.0
HULFT7 for Linux Ver.7.2.0
HULFT7 for zLinux Ver.7.2.0

(3)発生条件

下記の条件について、全ての項目を満たした場合に発生します。

- ・配信側ホストの配信管理情報の「圧縮レベル」を「縦横圧縮」に設定
- ・配信側ホストの配信管理情報の「転送タイプ」を「TEXT」に設定
- ・配信データにレコード長 0 バイトのデータが存在
(配信側データに改行のみの行が含まれている)
- ・配信側の製品が下記のいずれかに該当 (各製品の英語版も対象製品に含まれます)
 - HULFT for UNIX Ver.5
 - HULFT for Linux Ver.5
 - HULFT for Himalaya Ver.5
 - HULFT-SAN for UNIX(H) Ver.5
 - HULFT-SAN for UNIX(F) Ver.5
 - HULFT-SAN for Linux(F) Ver.5
 - HULFT for UNIX Ver.6
 - HULFT for Linux Ver.6
 - HULFT-SAN for UNIX Ver.6
 - HULFT-SAN for Linux Ver.6
 - HULFT7 for UNIX Ver.7
 - HULFT7 for zLinux Ver.7
 - HULFT7 for Linux Ver.7
 - HULFT7 for NSK Ver.7

発生する可能性がある製品の組合せは下表のとおりです。

配信側HULFT (HULFT-SAN含む)		集信側HULFT				
		Windows V7.2.3	Windows V7.2.2以前	NIX/Linux/zLinu V7.2.0	NIX/Linux/zLinu V7.2.0以前	Windows/UNIX Linux/zLinux以外
zOS OS390 MVS	V7	○	○	○	○	○
	V6	○	○	○	○	○
	V5	○	○	○	○	○
MSP	V7	○	○	○	○	○
	V6	○	○	○	○	○
	V5	○	○	○	○	○
XSP	V7	○	○	○	○	○
	V6	○	○	○	○	○
	V5	○	○	○	○	○
VOS	V6	○	○	○	○	○
	V5	○	○	○	○	○
	V4	○	○	○	○	○
ACOS	V5	○	○	○	○	○
i5OS	V7	○	○	○	○	○
OS400	V6	○	○	○	○	○
AS400	V5	○	○	○	○	○
K	V2	○	○	○	○	○
	V1	○	○	○	○	○
UNIX/Linux	V7	×	○	×	○	○
	V6	×	○	×	○	○
	V5	×	○	×	○	○
NSK	V7	×	○	×	○	○
	V5	×	○	×	○	○
Windows	V7	○	○	○	○	○
	V6	○	○	○	○	○
	V5	○	○	○	○	○

○：発生しません、×：発生します

2. 対応版リリース スケジュール

HULFT7 for Windows

日付	障害(1)	障害(2) (※3)
2011/08/26	Ver. 7. 2. 3 正式リリース	
2011/09/20	修正モジュール ダウンロード提供 (※1)	-
2011/09/21	Ver. 7. 2. 3 修正版 リリース (※2)	
2011/09/28	-	修正モジュール ダウンロード提供 (※1) 15:00～ (予定)
2011/09/30	-	Ver. 7. 2. 3B マイナーリビジョンアップリリース

HULFT7 for Unix/Linux/zLinux

日付	障害(1)	障害(2)
2011/08/26	Ver. 7. 2. 0 正式リリース	
2011/09/28		修正モジュール ダウンロード提供 (※1) 15:00～ (予定)
2011/09/30		Ver. 7. 2. 0A マイナーリビジョンアップリリース

(※1) 修正モジュールとは、障害の存在するモジュールのみを差替えるためにご提供するものです。

(※2) 当初 10 月に Ver. 7. 2. 3A としてマイナーリビジョンアップする予定のものを先行でご提供させて頂いたものとなります。このため、製品内のバージョン情報に Ver. 7. 2. 3A と表示されます。

(※3) 障害(2)の対応には、障害(1)の対応も含まれます。

3. 回避方法

以下いずれかの方法による回避をお願いいたします。

(1) 設定による回避

障害(1)

設定による回避はできません。

下記、修正モジュールもしくはマイナーリビジョンアップによる回避をお願いいたします。

障害(2)

配信管理情報の「圧縮レベル」を「横圧縮」か「圧縮なし」に設定することで、問題の現象を回避できます。

(2) 修正モジュールによる回避

下記 URL より修正用モジュールをダウンロード頂き、適用をお願いいたします。

詳細な適用手順については、URL および修正用モジュール内の説明書を参照ください。

なお、障害(2)に対する修正モジュールの適用によって、障害(1)の回避も可能となります。

障害(1)

URL <http://www.hulft.com/news/info/2011/110920.html>

提供開始日時 2011 年 9 月 20 日 (火) 13:00～

障害(2)

URL http://www.hulft.com/news/info/2011/110922b_02.html

提供開始日時 2011 年 9 月 28 日 (水) 15:00～

(3) マイナーリビジョンアップによる回避

障害(1)と(2)、両方に対応したマイナーリビジョンアップ版を弊社 製品ダウンロードサイトよりダウンロード頂き、適用をお願いいたします。

障害(1)と(2)に対応したマイナーリビジョンアップ版のバージョンは以下となります。

- HULFT7 for Windows Ver. 7.2.3B
- HULFT7e for Windows Ver. 7.2.3B
- HULFT7 for UNIX Ver. 7.2.0A
- HULFT7 for Linux Ver. 7.2.0A
- HULFT7 for zLinux Ver. 7.2.0A

URL <https://tech.hulft.com/support/media/index.jsp>

提供開始日時 2011 年 9 月 30 日 (金) 9:00～

4. 確認方法

ご購入の時期、または弊社から提供しておりますモジュールの適用有無によって、障害の発生有無が異なります。下表にてご確認をお願いいたします。

(1)HULFT7 for Windows

確認は、①メディア番号、②バージョン情報、③ファイルバージョン、④タイムスタンプ(更新日時)の順でご確認ください。

なお、④タイムスタンプ(更新日時)については、下表 No. 1 と 2 の判別のみを使用いたします。

No.	お使いの製品状態	確認箇所				障害(1)	障害(2)
		①	②	③	④		
		メディア番号	バージョン情報	ファイルバージョン	タイムスタンプ(更新日時)		
1	障害修正前の製品	H07WHO-000015 H07WHT-000015 H07WNO-000008 H07WNT-000008	Ver. 7. 2. 3	7. 2. 3. 0	2011/07/13	発生する	発生する
2	No. 1 に対して障害(1)の修正モジュール適用済の状態	H07WHO-000015 H07WHT-000015 H07WNO-000008 H07WNT-000008	Ver. 7. 2. 3	7. 2. 3. 0	2011/09/16	発生しない	発生する
3	障害(1)修正後の製品 (2011/09/21 リリース)	H07WHO-000016 H07WHT-000016 H07WNO-000009 H07WNT-000009	Ver. 7. 2. 3A	7. 2. 3. 0	2011/09/16	発生しない	発生する
4	No. 1、2 に対して障害(2)の修正モジュール適用済の状態	H07WHO-000015 H07WHT-000015 H07WNO-000008 H07WNT-000008	Ver. 7. 2. 3	7. 2. 3. B	2011/09/24	発生しない	発生しない
5	No. 3 に対して障害(2)の修正モジュール適用済の状態	H07WHO-000016 H07WHT-000016 H07WNO-000009 H07WNT-000009	Ver. 7. 2. 3A	7. 2. 3. B	2011/09/24	発生しない	発生しない
6	障害(1)(2)修正後の製品 (2011/09/30 リリース)	H07WHO-000017 H07WHT-000017 H07WNO-000010 H07WNT-000010	Ver. 7. 2. 3B	7. 2. 3. B	2011/09/24	発生しない	発生しない

No. 1～3 に該当するお客様

Ver. 7. 2. 3B へのマイナーリビジョンアップ、もしくは障害(2)に対する修正モジュールの適用をお願いいたします。

No. 4～6 に該当するお客様

対処は不要です。

(2)HULFT7 for UNIX/Linux/zLinux

確認は、①メディア番号、②バージョン情報、③ファイルバージョンの順でご確認ください。

No.	お使いの製品状態	確認箇所			障害(1)	障害(2)
		①	②	③		
		メディア番号	バージョン情報	ファイルバージョン		
1	障害修正前の製品	H07UHO-000008 H07UHT-000008	Ver. 7. 2. 0	Ver. 7. 2. 0		発生する
2	No. 1 に対して障害(2)の修正 モジュール適用済の状態	H07UHO-000008 H07UHT-000008	Ver. 7. 2. 0	Ver. 7. 2. 0A		発生しない
3	障害(2)修正後の製品 (2011/09/30 リリース)	H07UHO-000009 H07UHT-000009	Ver. 7. 2. 0A	Ver. 7. 2. 0A		発生しない

No. 1 に該当するお客様

Ver. 7. 2. 0A へのマイナーリビジョンアップ、もしくは障害(2)に対する修正モジュールの適用
をお願いいたします。

No. 2～3 に該当するお客様

対処は不要です。

(3)各項目の確認手段

[メディア番号]の確認方法

媒体に印刷されておりますメディア番号を確認してください。

[バージョン情報]の確認方法

HULFT7 for Windows の場合

HULFT7 for Windows 管理画面の[ヘルプ]→[バージョン情報]からバージョン情報画面を
表示。バージョン情報画面の上部に記載されているバージョンを確認してください。

HULFT7 for UNIX/Linux/zLinux の場合

utlhulversion コマンドを使用してバージョンを確認してください。

一行目に[V07L02R00]というバージョン情報が出力されているものが対象です。

出力例

```
HULFT7 for Linux-EX[V07L02R00] <official-use> 2011/09/15
OS[Linux 2.4.21] HOSTNAME[xxx]
SERIAL[123-4567-890123] PRODUCT[XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX-XXXXX]
ManagerConnection Option
```

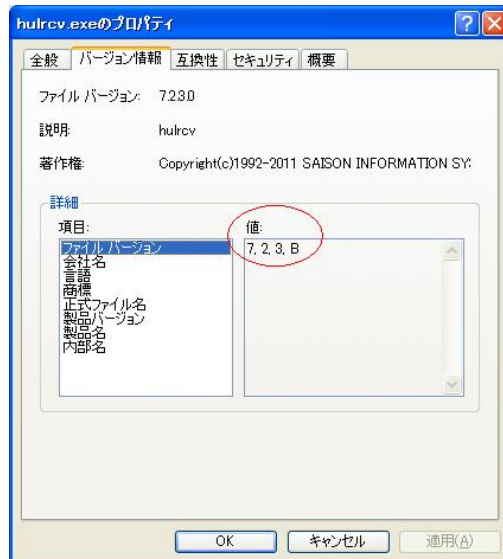
[ファイルバージョン]の確認方法

HULFT7 for Windows の場合

HULFT7 for Windows のインストール先フォルダに格納されている、集信モジュール（モジュール名 hulrcv.exe）のプロパティを表示してください。

バージョン情報タブから「ファイルバージョン」を確認してください。

※デフォルトのインストール先フォルダは「C:\HULFT Family\hulft7\binnt」です。



【注意】

Windows Vista SP2 および Windows Server 2008 SP2 では OS の仕様により、上記の方法でファイルバージョンを確認することができません。以下の方法で確認してください。

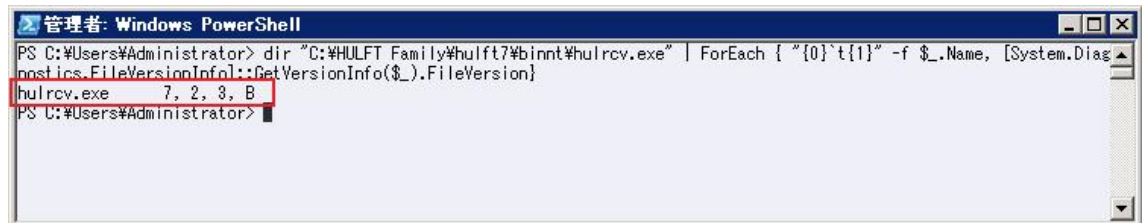
(a) [スタート]→[アクセサリ]→[Windows PowerShell]→[Windows PowerShell] を選択。

(b) Windows PowerShell ウィンドウより、以下コマンドを実行してください。

```
> dir [ファイルパス(※1)] | ForEach { "{0}\t{1}" -f $_.Name, [System.Diagnostics.FileVersionInfo]::GetVersionInfo($_).FileVersion }
```

(※1) hulrcv.exe が存在するパスを指定してください。

(c) 以下のように 7.2.3.B と出力されることを確認してください。



Windows PowerShell が導入されていない場合は、下記方法にて導入してください。

• Windows Vista SP2

以下の Microsoft 社技術情報サイトよりダウンロードし、インストールしてください。

[Windows Vista 用の Windows PowerShell 1.0 インストール パッケージ]

<http://support.microsoft.com/kb/928439/ja>

• Windows Server 2008 SP2

Windows Server 2008 ではサービスパックの適用状況を問わず、コンポーネントとして PowerShell は導入されております。機能を使用するにはサーバーマネージャーより機能を追加してください。

機能の追加は「サーバーマネージャー」の「機能」→「機能の追加」より、「Windows PowerShell」を選択してください。

HULFT7 for UNIX/Linux/zLinux の場合

HULFT7 for UNIX/Linux/zLinux のインストール先ディレクトリに格納されている、集信モジュール（モジュール名 hulrcvd）に対して、下記のように strings コマンドを実行してください。strings コマンドの実行結果で確認ができます。

Ver. 7.2.0 の場合

```
# strings hulrcvd | grep V720
$Name: V720-Inspection-4 $
```

Ver. 7.2.0A の場合

```
# strings hulrcvd | grep V720
$Name: V720A-Product $
```

[タイムスタンプ(更新日時)]の確認方法

HULFT7 for Windows のインストール先フォルダに格納されている、集信モジュール（モジュール名 hulrcv.exe）のプロパティを確認し、集信モジュールの「更新日時」を確認してください。

※デフォルトのインストール先フォルダは「C:\HULFT Family\hulft7\binnt」です。

以上

【改訂履歴】

2011/09/28

P.3 (1)発生現象

発生現象を追記

(3)発生条件

発生条件を追記

P.5 回避方法

詳細情報を追記

P.6～P.8 確認方法

詳細情報を追記

2011/09/26

P.2 (3)発生条件

製品の組み合わせ表を追加

P.3 (1)発生現象

発生現象を訂正

(3)発生条件

対象製品を追加

P.4 (3)発生条件

製品の組み合わせ表を追加

P.6 4.確認方法 を追加

2011/11/01

P.8 [ファイルバージョン]の確認方法

Windows Vista SP2 及び、Windows Server 2008 SP2 環境における注意事項を追記